



# 10代女性精神科病院入院者への 「性教育」の取り組みについて

医療法人耕仁会 札幌太田病院

○時岡かおり1)根本忠典1)八重樫真生2)

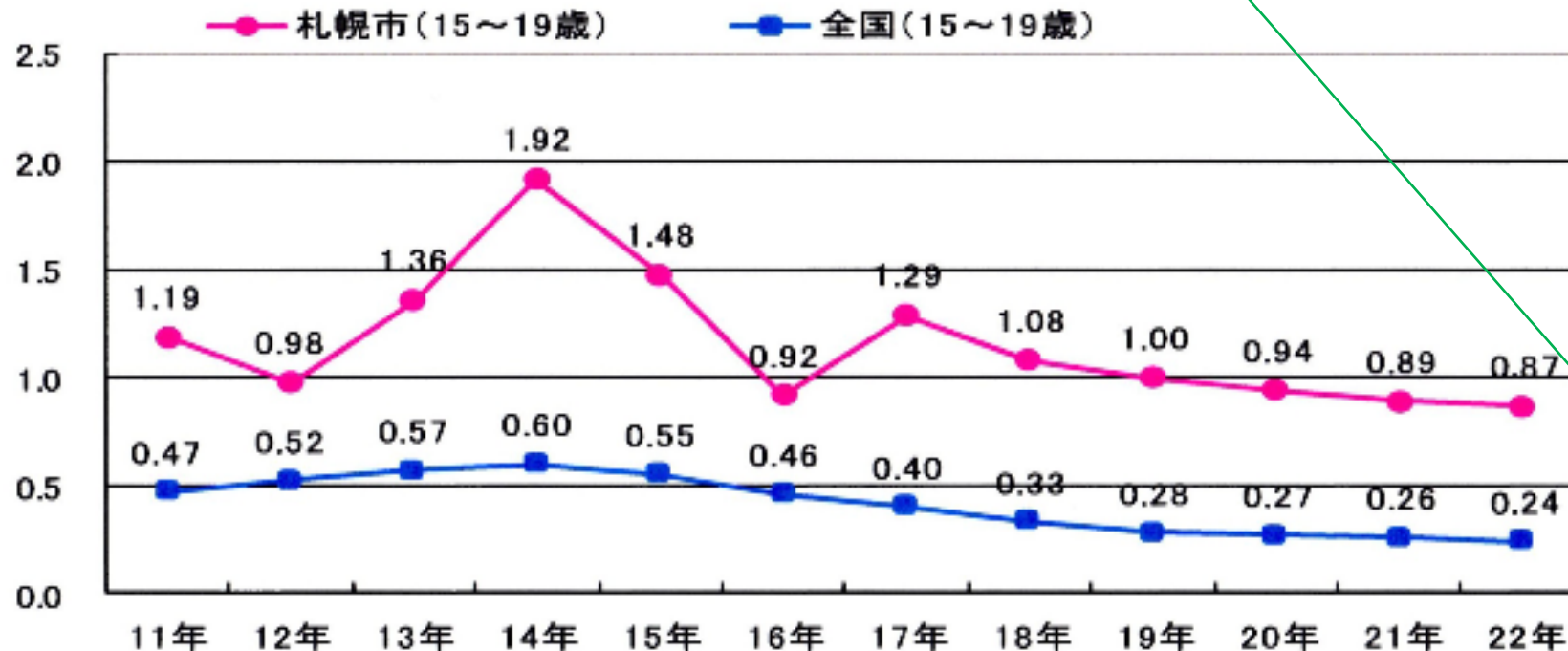
太田健介3)太田耕平3)

1)心理士 2)看護師 3)医師

# 1. はじめに 10代のクラミジア感染症罹患状況の推移

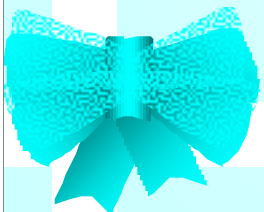
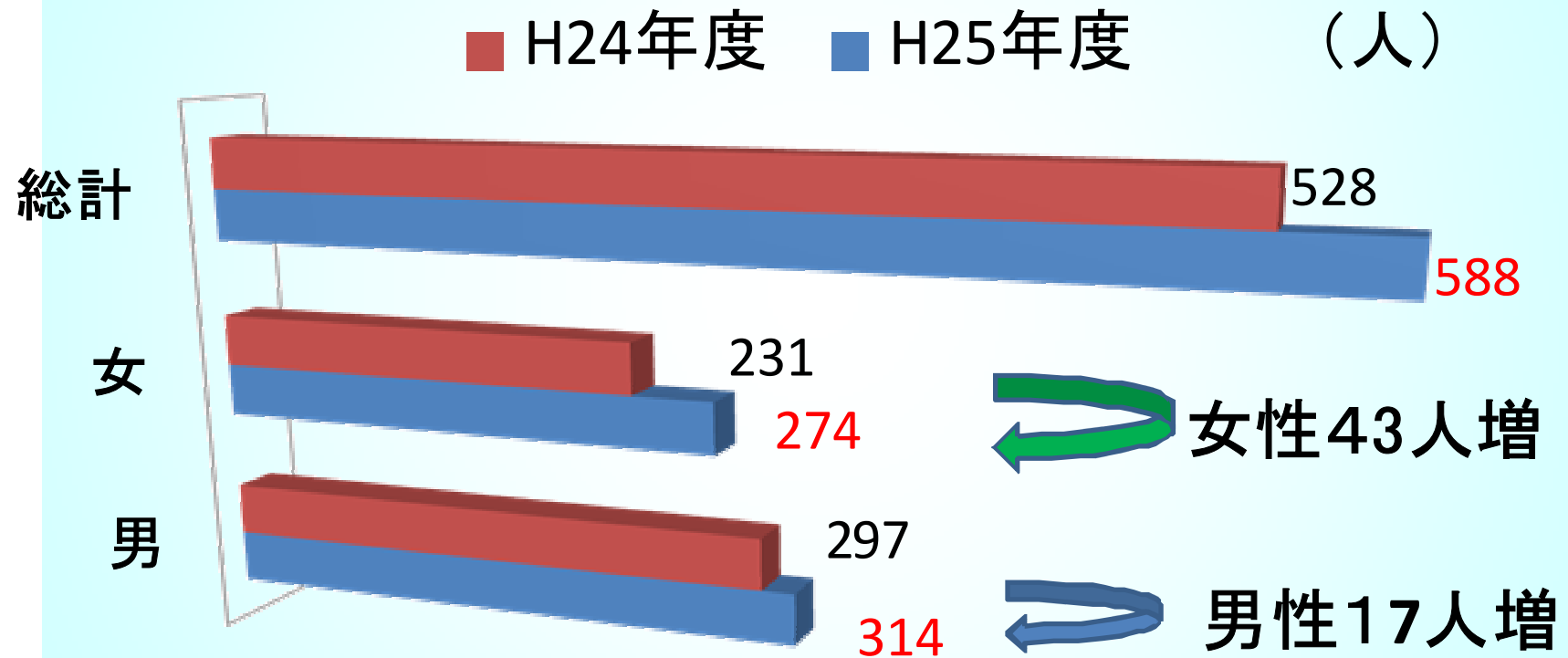
(定点医療機関における1か月の患者数)

札幌市の罹患率は全国の約4倍に  
(平成24年度)



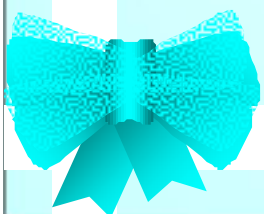
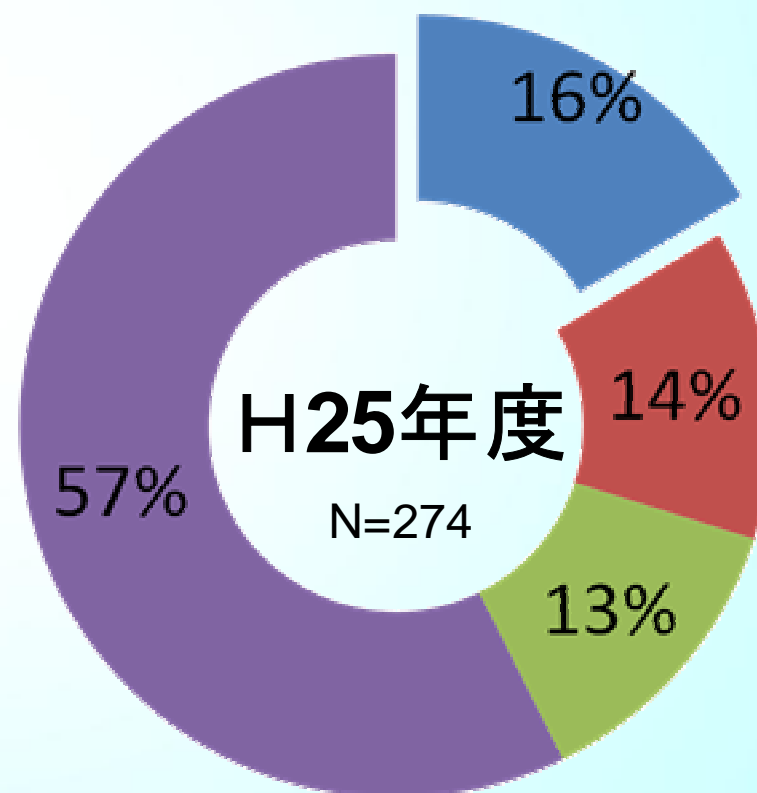
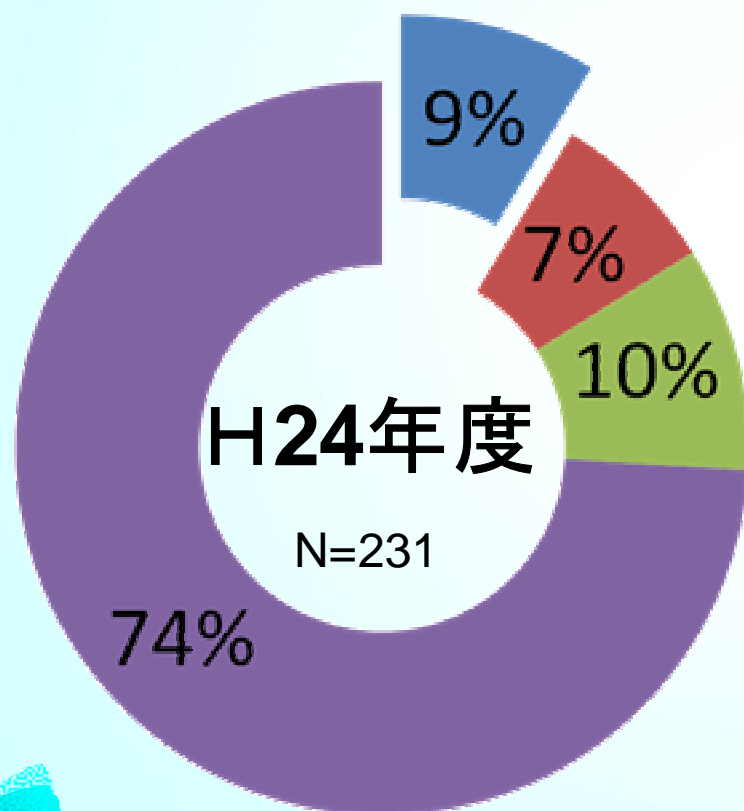
(資料:平成23年 感染症発生動向調査より抜粋)

# 入院者数内訳 H24年度・H25年度 (新規入院、新規再入院、再入院者数)



# 全女性入院患者に占める10代女性の割合

■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ その他



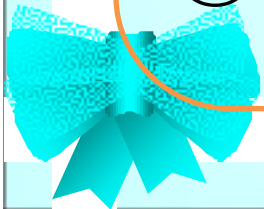
# 10代女性入院者の主な症状



## 2. 目的

10代女性精神科入院者に対する  
「性教育」が有用であるかを検討する。

- ①正しい性の知識の獲得
- ②性の問題に対して、適切な行動を選択する
- ③生命の重さを理解し、尊重する
- ④フリートークで意見を述べ合う



## 3. 方法

### ◆対象者

平成25年11月～平成26年3月までに入院していた12歳から19歳までの女性16人

### ◆日時 火・木曜日

18:30～19:30（全2回）

### ◆場所 ストレスケア病棟女性コーナー

1グループは2～3人

### ◆講師 女性心理士が交代で担当



# 第1回

## ①オリエンテーション

「性教育の目的」

## ②理解度チェック30問(テキスト内容から作成)

## ③講義 I : 月経・月経前症候群・性感染症

(月経前不快気分障害)

**テキスト内容** : ウイメンズボディヘルスより

○知っておきたい月経の基礎知識

○性感染症とは





## 第2回

### ①講義Ⅱ；妊娠/中絶・避妊法・緊急避妊

**テキスト内容:**ウイメンズボディヘルスより(協和企画 提供/あすか製薬)

- 中絶、妊娠、避妊法
- 避妊を正しく実行するために:教えて!ピルのこと
- みんなに知ってほしい緊急避妊のこと

### ②フリートーク

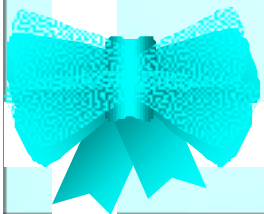
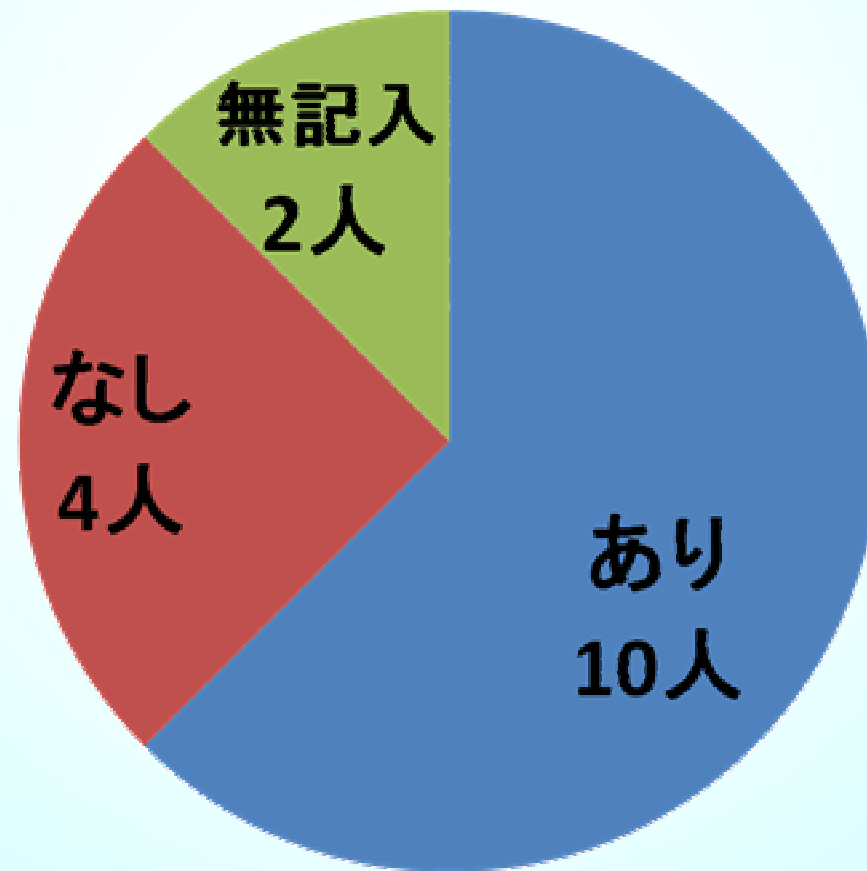
### ③理解度チェック30問(1回目と同じ問題)

### ④まとめ アンケート記入



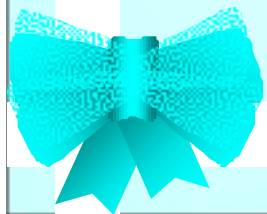
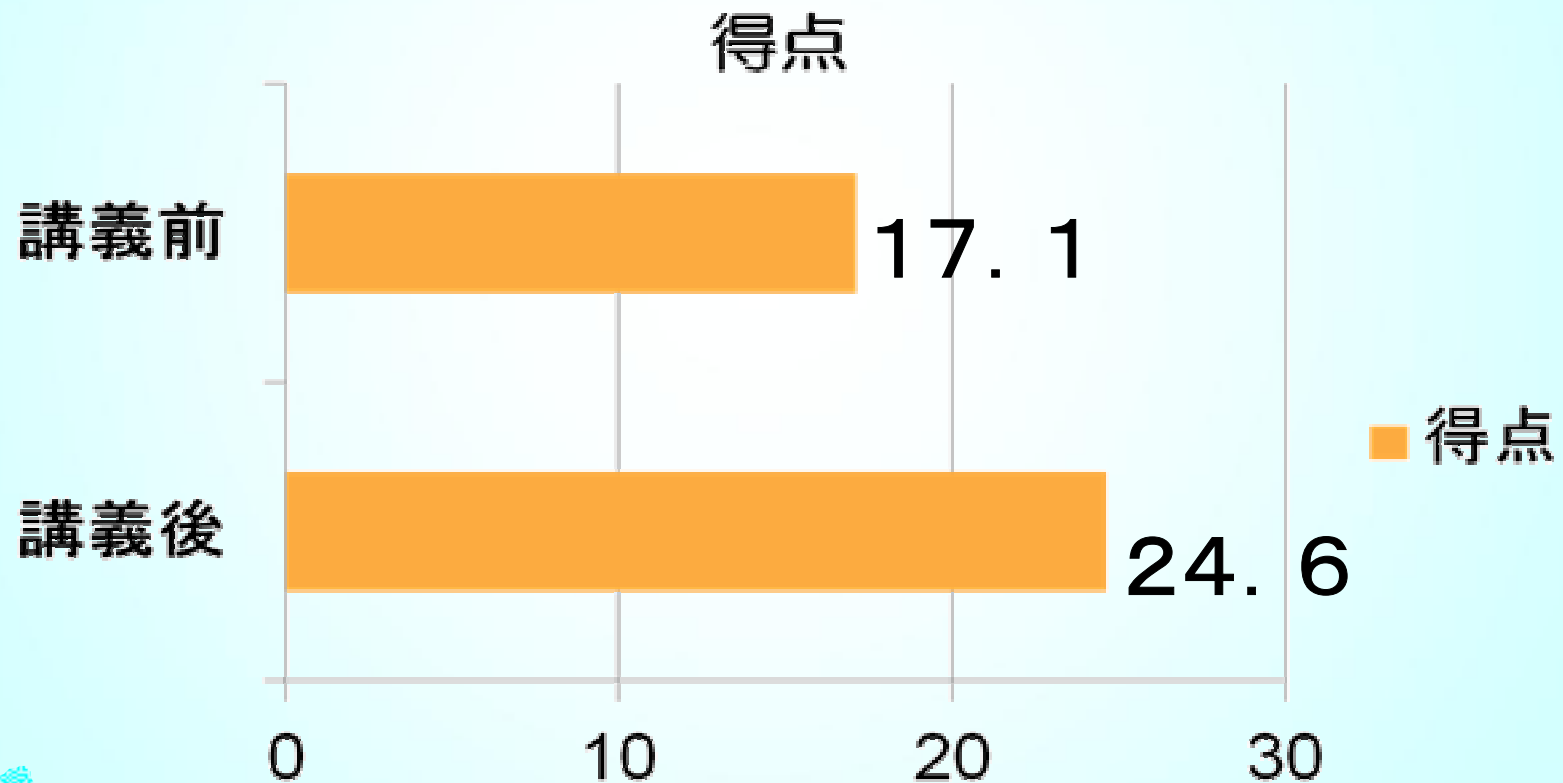
## 4. 結果

過去の性教育受講経験 (N=16)



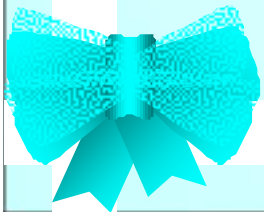
# 理解度チェック30問 (30点満点)

(N=15)



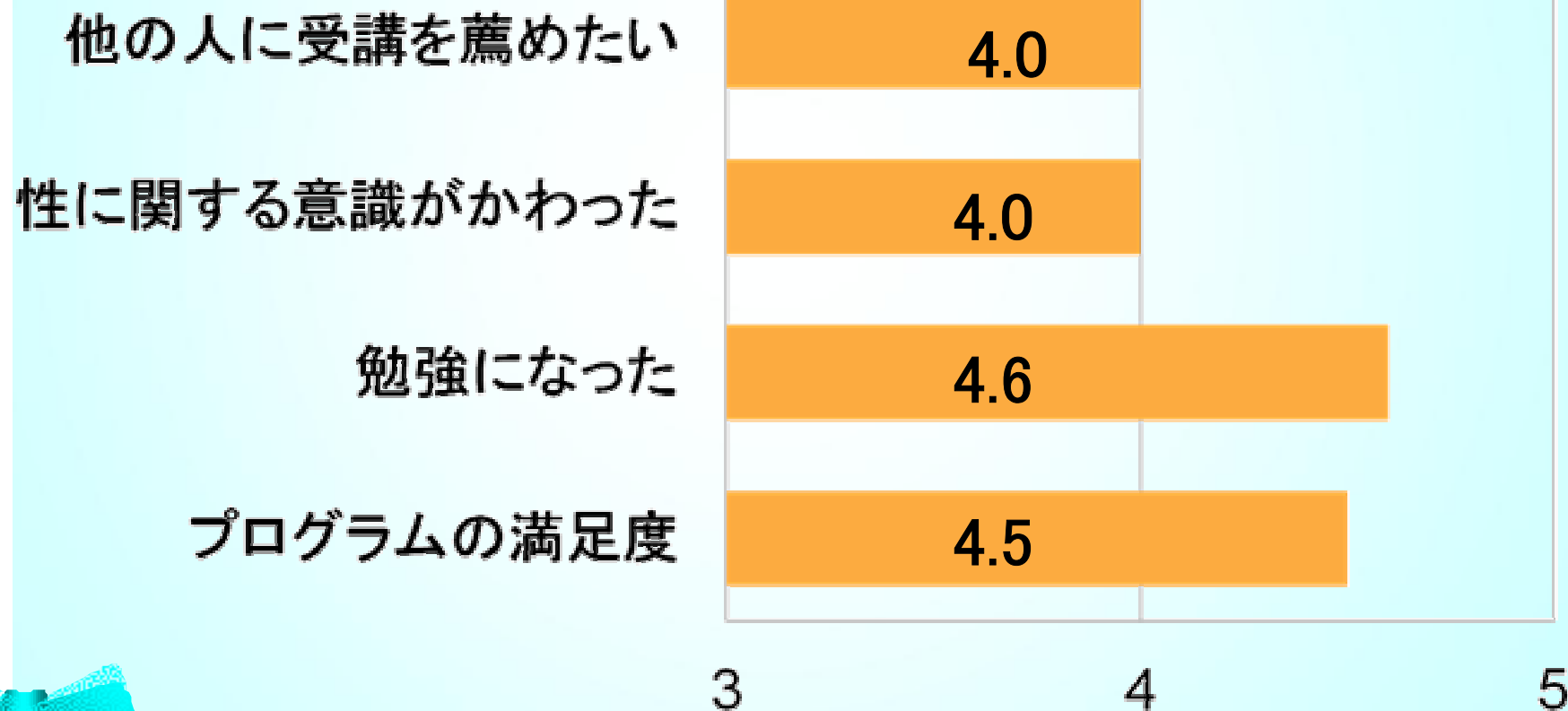
## 意見、感想（フリートークより抜粋）

- ◆ 月経サイクルを、スマホのアプリを利用して記録したい。
- ◆ 学校に行っていなかったのもので、勉強になった。
- ◆ 性感染症の言葉を初めて聞いた。



# 最終アンケート結果より

(5段階評価平均 N=11)



## どのようなことが勉強になりましたか？

- ◆ 避妊具やピルについて(4人)
- ◆ 性感染症について(4人)
- ◆ 月経や妊娠について(3人)

## 今後、どのように行動しますか？

- ◆ 望まれた子どもを生む。
- ◆ 安易に色々な人と関係をもたない。
- ◆ 自分の意志で避妊する。
- ◆ 性感染症が疑われる時は、病院に行く。

## 5. 考察(1)

- ◆理解度チェックの正答率が上がった  
→誤学習を訂正。正しい知識の獲得が出来た
- ◆月経サイクルを記録する  
→自分の体を大切にする行動に
- ◆望まない妊娠や性感染症などの危険から、自分で身を守る  
→適切な行動の選択を考えることに
- ◆子どもは望まれて生まれるべきと複数から意見  
→命の大切さを考える機会となった



## 考察(2)

◆10代女性への「性教育」は満足度が高い

→ ニーズに応える内容

◆不登校から、異性交流、中絶など問題が展開する傾向あり。

→性の問題を予防

安定した人生を送るために、

必要かつ有用な取り組みと考えられた。



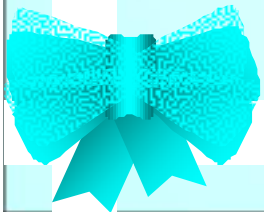


## 考察(3)

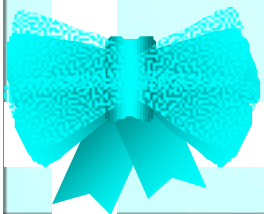
当院では、自分の誕生から現在までをふりかえる内観療法、家族関係の修復のために、家族療法を実施して効果をあげている。

以上の治療から、自分の尊さに気づき、体を大切にし、望んで子どもを生むことは、ネグレクトや虐待防止にも繋がると考える。

今後は、自分の誕生について、母から話を聴くなど、家族療法との併用も検討したい。



ご静聴ありがとうございました



H26.8.31 第33回日本思春期学会 医療法人耕仁会札幌太田病院